企業・団体名（　Far Yeast Brewing株式会社　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・外国人の雇用促進 2022年10月現在、アメリカ人2名、ベトナム人2名が在籍。 ・働き方の多様性の促進 本社では子育て中の母親がお子さんと一緒に出社したり、ペットと一緒に出勤できる職場環境。本社に勤務する従業員以外にもテレワークで仕事をする従業員が多数おり、社員が互いに働き方の多様性を多様性を認め合い受け入れています。 ・働きがいの促進 人事制度の改善、従業員満足度（ES）調査、ハラスメント防止制度、1on1ミーティング（上司と部下の1対1の対話）、チームビルディング勉強会などを実施し、継続的に従業員の働きがい向上に取り組んでいます。 また、今後の取り組みとして年齢、性別、国籍、宗教、障害の有無など一人一人が持っている違いを尊重し、多様性のあるチーム作りをさらに推進していきます。同時により働きがいのある人事制度構築を推進していきます。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	ハラスメント防止対策チームを立ち上げ、社内に相談窓口を設置。 従業員に対しては、マタニティハラスメント、アルコールハラスメント、セクシャルハラスメント、パワーハラスメント防止のための動画研修を実施。					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	勤怠システムによる管理、残業・休日出勤は事前申請制、部門長による稼働管理の徹底により法定外の長時間労働はない								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	ダイバーシティ・インクルージョンは当社創業以来の大事な価値観です。言語や生活サポートはもとより、国籍・性別に関わらず、1で回答した通り人事制度の改善、従業員満足度（ES）調査、ハラスメント防止制度、1on1ミーティング（上司と部下の1対1の対話）、チームビルディング勉強会を全社員を対象に実施し、課題があれば解決に向けて取り組んでいます				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	HACCP導入済み 月1回の醸造所安全会議の実施、場内安全パトロールの実施、ヒヤリハット報告と改善PDCA実施			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	ハラスメント防止制度、1on1ミーティング（上司と部下の1対1の対話）、チームビルディング勉強会を通じたコミュニケーションによる従業員メンタルのケア 有給休暇やパパママ休暇の取得促進など、休養を取りやすい職場環境の整備 2022年度中に福利厚生や手当の見直しを行い、従業員の多様な働き方によりそう施策を打ち出す			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	本社では子育て中の母親がお子さんと一緒に出社したり、ペットと一緒に出勤できる職場環境。 今後も年齢、性別、国籍、宗教、障害の有無など一人一人が持っている違いを尊重し、多様性のあるチーム作りとより働きがいのある人事制度構築を推進していきます。また、女性管理職を増やす仕組みの構築に着手予定です。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	従業員の健康増進のため、社内は禁煙にしています。 当社は、SDGsの達成に向けて、飲酒による社会活動へのマイナスインパクトを低減していく責任を負っています。「目標3：すべての人に健康と福祉を」の実現のために、アルコール飲料以外の事業の立ち上げなどあらゆる手を尽くしていきます。			○					○									

9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	製造現場における必要技術の研修、他ブルワリーとの交流研修会の実施 取締役、マネージャー、店長へマネジメントスキル向上のため、外部1on1研修講習の実施 組織力向上のためのチームビルディング現協会の実施				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	社内規定と評価制度に則った対応								○		○							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	所定の規則に則り適切に管理。製造工程で出る麦芽粕は都内の農場へと譲り、飼料として活用され、廃棄物の削減へと寄与している。 製造工程で出たロスビールや販売できなかったビールは、2021年より自社蒸留施設で蒸留してリキュールへとアップサイクル。ロスビールの廃棄も削減した。 今後は製造工程で使用する二酸化炭素の削減を目指し窒素ガス発生装置を導入を検討。 また、発酵途中に排出される二酸化炭素を回収・再利用するための研究にも取り組んでいきます。											○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	サプライチェーン排出量を算出中							○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	Co2排出量を算出中。今後削減すべく、窒素ガス発生装置を導入を検討。また、発酵途中に排出される二酸化炭素を回収・再利用するための研究にも取り組んでいきます。 また、森林の二酸化炭素吸収機能によってカーボンオフセットに取り組む予定です。							○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	法令で規制されている化学物質の使用はない			○			○					○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	製造工程で出る排水は全て小菅村の下水処理場で処理されるため、河川汚染はなし。 ロスビールは2021年より廃棄せず蒸留することで環境負荷の低減に寄与。						○									○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	製造工程で出る排水は全て小菅村の下水処理場で処理されるため、河川汚染はなし。 また、蒸留工程で出るお湯を回収してビールの仕込みや設備洗浄用として再利用している。						○											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境				○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	こちらのページで公開 https://faryeast.com/sdgs/												○					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	蒸留工程で出るお湯を回収してビールの仕込みや設備洗浄用として再利用 今後は製造工程で出るCO2の回収・再利用を目指す。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境													○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・工場における資源利用の削減、資源の再利用、再資源化を進めている						○					○	○	○	○	○		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	2022年より取締役会・コーポレート部門により内部統制強化のための専門プロジェクト立ち上げ、半年に1度の内部監査の実施を目指している																○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	社則にて規定を定め、従業員への順守を求めている																○	

24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	自社ブランド、基幹商品の商標取得、同時に他社商標の侵害とならないようリサーチを行う。 取引先との契約時には、顧問弁護士による確認のもと契約書の作成・締結を行い、その文書の補完をコーポレート部門により徹底する。								○	○									
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	顧客情報、従業員情報の適切な管理をし、不必要に閲覧できないよう権限を設けている																○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会																	○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会						○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	HACCP導入、品質管理部門による製品生産管理、微生物検査、アルコライザーチェックの徹底			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	マーケティング会議における製品企画～製造～販売～アフターフォローのフロー構築・実行									○								
30		【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境							○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	地域の生産者と連携し、県内の産業の活性化を図ることを目的とした製品造り。市場に出せない桃や葡萄のB品、コロナ禍により販売できなくなり賞味期限を迎えてしまう大量のトマトジュースのアップサイクル、小菅村内で高齢化により放棄された梅畑の管理ために梅を収穫し、それを活用したビールの開発など。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	小菅村内において、ビール製造だけでなく、地域共生を目指す。地元の産物を使ったビール、ふるさと納税への協力、村が造成する森林公園敷地内への新工場設立、地元小学校・中学校での講演、社会科見学への協力など。また、村内在住社員による村内消防団への加入、観光協会の清掃活動への積極的な参加、村行事への協力。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	神社改修への寄付、地元小学校・中学校での講演、社会科見学への協力など。また、村内在住社員による村内消防団への加入、観光協会の清掃活動への積極的な参加、村行事への協力。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	小菅村の水を使用してビールを製造しています。県内向けに小菅の象徴である「源流」シリーズのボトルビールを販売。その他、村内で収穫した梅、ブルーベリーを使用したビールや梅酒の製造、国内外へと販売しています。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	2022年５月実施の従業員満足度（ES）調査では、非常に高いスコアが出ており、従業員の間でも浸透していると認識しています。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	新入社員への企業理念、全社目標ガイダンスの実施。半期に一度の全社目標設定による経営方針の周知、月1回の全社mtgによるミッション、ビジョン、バリュー（SGDs活動含む）トピックスの共有を実施。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	内部統制強化、ハラスメント防止についての専門チームの立ち上げ。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会																	○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	品質管理部門により、HACCPを基準とした安全パトロールや監査の実施																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	2022年度事業計画書に「社会課題解決の取り組み」を設け、地方創生、バリューチェーンの中の取り組み、多様性の推進桃を掲げ、それに則り各部門で取り組んでいる																○	

41	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	適宜ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握																	○	○
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済											○		○		○			○	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済									○	○									○

【記載留意事項】
・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17